



設置した積雪観測装置

## 沼田土木事務所様で積雪観測装置を設置

全国でも有数の豪雪地帯である群馬県沼田土木事務所様管内に、積雪観測装置を設置しました。

従来は冬期間の積雪状況を観測員が観測していました。今回、群馬県の「社会資本総合整備(防災・安全)(雪寒)積雪観測装置設置事業」により、特に雪の多い地域を対象に積雪を常時自動観測する装置が導入されました。本装置は、レーザーの反射により正確に積雪を測定します。また、観測したデータは携帯電話回線でデータ処理サーバに即座に送信され、迅速な情報収集が可能です。

明星電気は、観測と通信の両技術により、自然災害による交通インフラの変化をいち早く捉え、地域の安全・安心に貢献する機器を提供しています。

(担当:関東支店)



仁田峠設置の屋外筐体

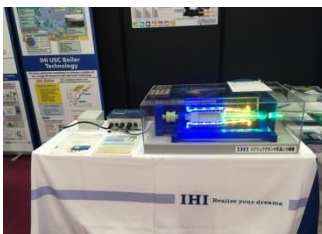
## 雲仙岳砂防観測施設に振動観測設備を納入

1991年の雲仙岳の火砕流の被害から25年が経過しています。雲仙岳では噴火活動を終了後、溶岩ドームの監視を実施しており、当社の納入した機器も長年観測に使用されています。

溶岩ドームの監視は現在でも継続的に実施されており、2016年度に九州地方整備局雲仙復興事務所様の発注による雲仙岳砂防観測施設設置工事が実施されました。CCTVカメラ、振動観測設備の整備が目的で、振動観測用機器として気象庁や国・県の研究機関向けに多くの実績があるS500シリーズのテレメータ1式と計測震度計(S210)2式を納入しました。観測したデータは復興事務所にリアルタイムで伝送されます。

明星電気の製品が溶岩ドーム監視強化の一翼を担っています。

(担当:九州支店)



展示品 海外向け地震計G401

## アジア開発銀行年次総会併設展示会に出展

5月4日から7日にかけてパシフィコ横浜で開催されたアジア開発銀行年次総会の併設展示会に、海外向け地震計G401を出展しました。

アジア開発銀行は設立から50年を迎え、設立以来アジアの発展に尽力している国際機関です。今回のアジア開発銀行の年次総会は、皇太子殿下御臨席のもと開催され、アジア圏を中心とした各国の財務大臣、中央銀行総裁、民間金融機関関係者、NGO、報道機関関係者など約4,000人が参加しました。弊社は、IHIグループとしてIHIシバウラの消防ポンプや浄水器などとともに、「防災」を中心としたブースに地震計G401を出展し、来場者からご好評をいただきました。

明星電気は、世界の災害対策の発展に貢献できるよう製品開発と海外展開を進めています。

(担当:気象防災事業部)

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。